

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却費資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

・退職給付引当金

職員に対する退職金の支給に備えるため、独立行政法人勤労者退職金共済機構の中小企業退職金共済制度に加入しており、支給額の全額を確保している。よって、退職給付引当金は計上していない。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当資産	9,682,612	107,288	804,298	8,985,602
配分金支払準備資金積立資産	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	11,682,612	107,288	804,298	10,985,602

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
減価償却引当資産	8,985,602	(0)	(8,985,602)	(0)
配分金支払準備資金積立資産	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
合計	10,985,602	0	10,985,602	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	486,432	123,203	363,229
車輛運搬具	6,654,650	6,654,643	7
什器備品	2,471,680	2,207,756	263,924
合計	9,612,762	8,985,602	627,160

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。 (単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金等						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金及び雇用開発支援事業費等補助金	公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会	0	14,079,000	14,079,000	0	—
京都府高年齢者労働能力活用事業費補助金	京都府	0	2,341,000	2,341,000	0	—
舞鶴市シルバー人材センター運営事業費等補助金	舞鶴市	0	12,493,000	12,493,000	0	—
合計		0	28,913,000	28,913,000	0	